

大学の災害対応を考える

2011 年 7 月 27 日 (水) 14:30~17:00
東 2 号館 2 階 2201 教室
(一橋大学 国立・東キャンパス)

東日本大震災に被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

今回の未曾有の大震災は、学生の安否確認に始まり、被災した学生への支援、留学生対応、授業日程の変更、そして、防災マニュアルの見直し、と大学の学生支援・教育研究活動に大きな課題を投げかけることとなりました。現在進行形の福島第一原子力発電所の事故の影響は、今後どのように及ぶのか。もし南関東直下型の大地震が起きた場合には、いかなる課題が生じるのか。こうした諸課題について、東日本大震災への本学の対応を振り返りつつ全学的議論を深めることが、今回の FD のねらいです。

◆ プログラム

副学長挨拶 落合 一泰 副学長 (教育・学生担当)
14:30~14:40

第 1 講演 今中 哲二氏 (京都大学原子炉実験所)
14:40~15:20 「放射性物質に対する大学の危機管理」

第 2 講演 村越 真氏 (静岡大学教育学部)
15:20~16:00 「静岡大学の防災教育への取り組み」

(16:00~16:10 休憩)

第 3 講演 大芝 亮 副学長 (総務担当)
16:10~16:40 「一橋大学における防災対策」

総括質疑 司会 水岡 不二雄 (経済学研究科)
16:40~17:00 貴堂 嘉之 (社会学研究科)

主催者挨拶 筒井 泉雄 大学教育研究開発センター長



一橋大学 大学教育研究開発センター

<http://www.rdche.hit-u.ac.jp> / TEL:(042)580-8996 / FAX:(042)580-8997

※この講演会は大学関係者を対象としたものです。講演タイトルは変更の可能性があります。